



よしのみか
吉野三香さん

出身大学：慶應義塾大学法学部

在籍した時期：小学部 1 年生から 3 年生までの約 3 年間

現在の仕事：NHK 国際放送ナレーター/イベント MC/場内アナウンサー

Q. 日本語学校はどんな存在でしたか？

同じ境遇にある仲間と会える毎週土曜日の日本語学校は、ワクワクする特別な空間でした。アメリカ生活を送る上で、日本人としての自分のルーツをリマインドしてくれるとても大事な場所だったと思っています。

Q. 日本語学校での経験が役立っていると思うことは？

日本語学校ではしっかりと漢字の知識をたたき込まれたように記憶していますが、やはり漢字は日本語の土台部分ですので、感謝しています。20 代後半に好奇心から中国語を学び始めた時、英語と漢字知識のベースがしっかりあったので、非常に学習しやすかったです。

Q. 在学中に保護者が担った役割や感謝していることは？

日本から国語ドリルや学研教材、ダンボール数箱分の岩波文庫の本を取り寄せるなど、常に日本語学習を忘れないよう環境作りをしてくれました。



在米当時の吉野さん（右）
兄弟とホワイトハウスにて



中国語でイベントの MC を
務めることも

Q. 帰国後どのように英語力を維持しましたか？

帰国後は地元の公立校に通いましたが、いつからか毎週 1~2 回アメリカ人の家庭教師が家に来るようになり、その日は母が必ずケーキやパイを焼いてくれるので、お楽しみデーになりました。食べ物に釣られた感もありますが、英語力維持の一因になったのは確かです。

Q. 将来の方向性を決める際に影響したことは？

バイリンガルだったということ。テレビキャスターとして最初に担当した番組が、英語と日本語両方を使用するというフォーマットでした。



控え MC を務めたオリンピック
開会式のリハーサル風景

Q. 在校生へのメッセージ

昔からずっとグローバル化は叫ばれていましたが、現在の混迷に続く新たな時代こそ、皆さんのように物心ついた時から多様性の中で育つ地球人が大活躍する時代だと思います。期待しています！